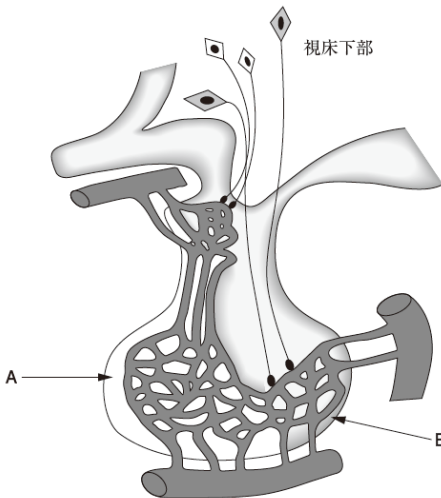


# 105-111

## 問題文



1. Aから分泌されるホルモンは、視床下部ホルモンにより分泌調節される。
2. ソマトスタチンは、Aからの成長ホルモンの分泌を促進する。
3. ゴナドトロピン放出ホルモンは、Aからのオキシトシンの分泌を促進する。
4. バソプレシンは、視床下部で合成され、Bから分泌される。
5. ドパミンは、Bからのプロラクチンの分泌を抑制する。

## 解答

1, 4

## 解説

Aは脳下垂体前葉、Bは脳下垂体後葉と考えられます。

選択肢1は妥当な記述です。

視床下部は、脳下垂体前葉の調節を行います。

選択肢2ですが

ソマトスタチンは、内分泌系を「抑制」するホルモンです。「促進」ではありません。よって、選択肢2は誤りです。

選択肢3ですが

オキシトシンは脳下垂体「後葉」から分泌されます。A、つまり脳下垂体前葉ではありません。よって、選択肢3は誤りです。

選択肢4は妥当な記述です。

選択肢5ですが

プロラクチンは脳下垂体「前葉」から分泌されます。B、つまり脳下垂体後葉ではありません。よって、選択肢5は誤りです。

ちなみにですが、ドパミン遮断薬による代表的な副作用として、高プロラクチン血症が知られています。この知識から「ドパミンがプロラクチン分泌抑制」は妥当であることも判断したいポイントです。

以上より、正解は1,4です。

参考)